

2026年3月卒業 鳶野さん(服飾系選択→就職)

私はもともと家庭科の授業が好きで、特に衣装づくりに大きな魅力を感じていました。中でもドレス製作への憧れが強く、自分の手で形にしてみたいという思いから生活科学科の入学を志望しました。

実際に学び始めてからは、基礎的な縫製技術だけではなく、素材の扱い方やデザインの考え方やデザイン画の描き方など、衣装を完成させるために必要な多くの知識を身につけることができました。3年間で最も印象に残っていることは、3年次に行われたファッションショーの活動です。使用する布の選択からデザイン・製作・構成・編曲をすべて自分たちで行いました。作品を形にしていく過程では困難なこともありましたが、その分大きな達成感を得ることができました。チームで協力しながら一つの作品を完成させ、大きな舞台で多くの方に成果を発表できた経験は生活科学科だからこそ得られた貴重な学びだと思います。

また課題研究の授業では、再現ドレスと2WAYドレスの研究というテーマで探究活動をしました。入学を決めたきっかけでもあったドレスの製作では、素材選びから細部の縫製方法までを試行錯誤しながら進める中で、ドレスづくりの難しさや創り上げる楽しさを実感できました。研究を重ねて完成したドレスは自分自身の成長、3年間の学びを感じられる作品になりました。

卒業後は衣服の管理の会社へ就職を予定しています。これまで身に付けてきた知識や経験を活かし、お客様が大切な場面で安心して着用できる衣服を届けるための支えになりたいと考えています。